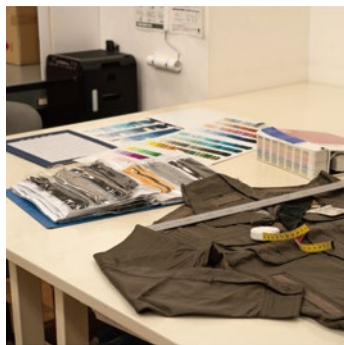


社員の幸せな会社をつくることが私の使命。

藤井 荘大

(代表取締役専務 / 経営、営業)



もっと生の声

Q & A

— ユニフォームづくりの面白さはどのようなところですか？

作業用ユニフォームは、安心・安全・機機能が求められ、これらを満たすことは不可欠です。しかし、最近ではカッコ良さも求められています。これらのバランスを取りながら、ファッション性をいかに出していか、そこに面白さを感じます。

— 今後取り組んでみたいことを教えてください。

ユニフォームのデザイン面でのカジュアル化を今以上に進めていきたいです。作業着に対するイメージが変わるようなカッコ良いデザイン、そして着た人が生き生きと働けるようなデザインを追求していきたいです。

— どんな人と一緒に働いてみたいですか？

やはり働くうえではコツコツ真面目に働くことが大切であり、そういう人達と一緒に働きたいと思います。例えば営業だからといって、口が達者である必要はありません。企画だからといって上手にデザイン出来る必要はありません。もちろん出来るに越したことはありませんが、出来なくても真面目にコツコツ働いていけば、必ず報われるときは来ると思いますし、そういった人達が成長していくのを支援するのが私の役割だと思っています。



藤井専務は、桑和の後継者として入社。周囲の期待や責任感を自覚しながら、がむしゃらに取り組んだ結果、売上や商品開発などの目標をクリアするものの、「自分は会社や社員に貢献している」という確かな実感が得られずにいました。そんな中、社員の結婚披露宴に出席し「桑和に入社して将来への不安が無くなり、結婚を決意できた」との言葉を聞き、衝撃を受けたそうです。

それ以降、「社員が桑和で働くということは、その人の人生だけでなく、家族の幸せをも左右する。会社は社員の幸せな生活が成り立つよう頑張らなければならない」という思いを胸に、経営に取り組んできました。「当社の使命は、働く人が仕事にモチベーションやプライドを持てるワーキングウェアを提供することです。そのために、働く人の仕事への意識や、よりスムーズな動作をサポートできるよう、新しい価値を提供し続ける必要があります。」

そのためにも、「社員一人一人が自ら学び、仲間と共に成長していける環境づくりに取り組んでいきたい」という藤井専務。「働く人の誇りとなる作業服を提供し続けるメーカーとして、自分たちも仕事に誇りをもつことが大切だと考えます。企画力や販売力といったスキルだけでなく、ハートの部分で『人』とつながり、社員とその家族の幸せを追求し、一人ひとりが自信と誇りをもって生き生きと働ける会社を目指していきたいです。」

